



おきなわのなつかしの風景 戦前の那覇の町にタイムスリップ

ゆいレール県庁駅前を降りて、5分歩いたパレットくもじ内に、那覇市歴史博物館があります。この博物館には、戦前の那覇の町にタイムスリップしたかのような、当時の街並みを再現したジオラマがあります。

どこか懐かしい風情漂う街並みです。目線を近づけると、路面電車、人力車、通りを歩く子供たち、電柱、看板などが実に細かく再現されていて、見れば見るほど新しい発見があり、楽しさが膨らんでいきます。

このジオラマ制作に携わった当時の担当者の喜納大作さんに話を伺いました。



目線を近づけると、まったく異なる世界が見えてくる。路面電車、線路を横切る自転車、和服姿の女性が精巧につくられていて動き出しそう。思わず引き込まれて、時間を忘れてしまいそうになる。

「とても細部まで精工にできていてまるで本物のようです。どうやって作ったのですか。」

おもに当時の写真を参考に復元しています。建物の寸法なども写真から割り出しました。たとえば建物の横幅がわからないとしても、今と昔で大きさがあまり変わらない瓦がいくつ並んでいるかを数えることで、おおよその横幅を割り出すことができました。写真をもとに図面を作ってもらって、当時の建物として問題ないか建築の専門家とも一緒に検討しました。

「地道な作業で大変だったのではありませんか。」

やりがいがあり、楽しい時間でした。かつての那覇の街並みはとても個性的で魅力的です。西洋風のモダンな建物や路面電車など近代的なものと、沖縄の赤瓦屋根の建物が同居する情緒ある街並みでした。戦前の那覇の中心は那覇港に近い今の東町一帯にありました。那覇市役所、郵便局、百貨店、商店などが立地し、人と物が行き交う豊かな場所でした。ちょうど



人力車、女学生、レトロな車が見える。お店の看板も実際にあったものを、写真などから忠実に再現するようにしたという。

ジオラマで復元した場所です。その当時の雰囲気そのまま再現したいと思いました。できるだけ、リアルに再現したいと思う、当時近くに住んでいた方にも話を伺ったりしました。

「ジオラマの魅力は何ですか。」

難しい歴史書などと違い、子供から大人まで、見て「楽しむことができることだと思っています。戦争で失われてしまった那覇の雰囲気を、ジオラマを通して感じてもらうたら嬉しいです。

「ありがとうございました。」

近くに寄られた際などに、是非一度、足をのばしていただければと思います。

喜納大作 (きな・だいさく)



1984年生。元・那覇市歴史博物館非常勤学芸員。

執筆等：「湯原の製塩風景を読む」『古地図で楽しむ首里・那覇』所収、風媒社、2022／「写真から見る近代の首里城正殿」『首里城御普請物語』所収、那覇市歴史博物館、2022ほか

当時の人たちの
息遣いが
聞こえそう



撮影協力：那覇市歴史博物館(那覇市久茂地1-1-1パレットくもじ4F)